

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 山中 利夫

1 藤井聡太フィーバーが守山児童館でも!! 過去最高!!定員の2倍の62名が後期クラブに応募!!

10月7日から名古屋市守山児童館の後期将棋クラブ（全11回）が始まりました。

守山児童館の将棋クラブのモットーは、「将棋の駒を動かさない初心者から懇切丁寧に、礼儀を重んじて指導する」ことです。

現在の将棋クラブ形式になったのは、平成25年からです。将棋指導員の佐藤幸雄と黒野昭司始め有志3名の計4名で子供たちに将棋の指導をしています。思えば平成19年から始めた将棋教室が、「よくぞここまでになった」というのが正直な感想です。

将棋クラブは前期（4月～9月）と後期（10月～3月）それぞれ6か月で11～12回開催しています。また、家に帰って対戦相手も必要となるためギャラリーとして親御さんの参加を認めています。

このクラブの特徴は、クラブ終了時に子どもたち一人ひとりの棋力に応じて級位の認定証を発行し、手渡していることです。子どもたちは、級位をもらうことにより一定の達成感を感じるとともに、さらに努力しようとする効果もあります。

私たちは、はじめて将棋にふれる子どもを優先し、できるだけ多くの子どもたちに日本の伝統文化である将棋を普及させようと活動しています。

最後に、私たちは、児童館のほか守山区内の小幡小学校と守山小学校のトワイライトスクールや守山会館を拠点に地域においても、より多くの子どもに将棋を知ってもらうための活動をしています。

将棋指導員 佐藤幸雄



2 第4回豊橋ふれあい親子ペア将棋大会

8月27日（日）、「第4回豊橋ふれあい親子ペア将棋大会」を開催しました。

今年は“藤井効果”により出場ペアが、応募総数の目標32組超えを果たし、36組となりました。その内訳は、三重県いなべ市から1組、愛知県尾張地域7組、西三河2組、東三河5組（豊橋市除く）、静岡県浜松市2組、地元豊橋市19組となりました。昨年・今年と連続出場ペアは11組（約30%）で他はすべて新規でした。

豊橋市松葉町の市民センターカリオンビル6F多目的ホールにて午前10時から開会式ルー



ル説明を経て、A, B, C, D, E, F, G, H, I組4ペア総当たり、予選リーグ54局が指されました。

本大会の目的趣旨は将棋を指すことで親子が意志疎通を図り、気持ちを一つにして親子の絆を深めること。対戦相手の健闘を讃え合い、互いの家族同士が親睦を深めることにあります。玉石混交状態のペアを、実力、地域格差を勘案したグループ分けで、上位群、下位群にスムーズに選別されるように配置しました。しかし、36ペアから16ペアずつのトーナメントに組むことは至難の業で、運営側としては大変苦慮しました。

ペア競技の合間に、杉本昌隆七段による指導対局が会場一角で行われ、17名が教わりました。大会には中日、東愛知、東日新聞各社が取材に訪れ、その模様はケーブルTVカメラに収録され、後日ニュース番組ホットステーションで放映されました。

昼食休憩を挟み、真の王者を目指して勝者組16強による決勝トーナメントと片や、敗者組による心機一転、市長賞、教育委員会賞争奪トーナメントを戦いました。午後は全部で31局が指され、各ペアが日頃から培ってきた親子の実力を勝負対局に、いかんなく発揮されていました。

決勝戦は杉本先生の大盤解説による公開対局でこれまでとは違った新たな試みとして、会場向けにTVカメラを設置して盤面中継しました。スクリーンに映し出された局面を見ながら解説を聞き、より臨場感あふれる熱戦を会場内のみなさんが楽しめたと思います。

表彰式、閉会式後に参加者一同記念撮影して締めました。来年は、8月26日に第5回大会を開催する予定です。

日本将棋連盟豊橋支部 辻村隆介

優勝	準優勝	第三位	豊橋市長賞	豊橋市 教育委員会賞
金澤 省吾・ 正一郎 親子ペア (岡崎市)	華房 宏樹・ 慶太 親子ペア (名古屋市西区)	若松 辰彦・ 大和 親子ペア (いなべ市)	白木 貴司・ 達也 親子ペア (豊橋市)	渡邊 俊彦・ 真人 親子ペア (豊橋市)

3 室田伊緒のかすがいふれあい将棋講座

こども将棋大会in春日井まつり

10月21日(土)、台風21号の影響ですぐれぬ天候の中、開場前から多くの子に待ってもらい慌ただしく設営準備をしました。

ゲストプロ棋士の安用寺孝功六段の開会の挨拶で、将棋対局で大切なこととして、対局開始の「お願いします」と終局後の「ありがとうございました」をはっきり言いましょう、との話があり、200人以上でのにぎやか中で始まりました。

かすがいふれあい将棋講座は、安用寺六段と室田伊緒女流二段が各5面指しでの指導対局。午後からは将棋大会が終わった子の参加もあり、合計50名(うち春日井市23名)が参加しました。

こども将棋大会in春日井まつりは、初・中・上級の3クラスに分かれ各クラスともスイス式の4対局を行い、次の結果となりました。

日本将棋連盟春日井支部 早川幸男

	優勝	準優勝	第三位
上級 8(0)名	横谷 篤飛 (奈良県・中3)	加藤 慎士 (岐阜県可児郡・中1)	梶川 宗継 (三重県津市・小4)
中級 14(7)名	住吉 治志 (岐阜県多治見市・小5)	宮田 文希 (岐阜県多治見市・小6)	松田 侑大 (知多郡・小5)
初級 41(19)名	三宅 琉世 (名古屋市・小5)	大岩 啓人 (小牧市・小2)	林 遼河 (北名古屋市・小2)

()内は春日井在住者

4 中山六段が愛知県庁支部を訪問

10月21日(土)午後、中山則男六段が愛知県庁支部を訪問されました。

当日は、桜華会館で開催の愛知県庁支部総会を兼ねた将棋大会にお越しいただきました。

指導将棋では、11名が中山六段に挑みましたが、上手の10勝1分けと、上手の力強さが際立ちました。引き分けは時間の都合でそのように取扱いましたが、内容的にはいかんともし難いものでした。中には、上手玉を追い詰めた対局もありましたが、即詰みを発見することができず、無念の投了となりました。

指導将棋では、力戦系の内容が多かったですが、序盤・中盤あたりまでの定跡研究が必要不可欠であり、また、日頃から、詰め将棋に取り組んでおくということが肝要と改めて感じました。



愛知県庁支部 小林壮行

5 台風の中、将棋フェスティバル2017を開催

10月29日(日)、名古屋港湾会館にて、当日の夕方にかけて台風が東海地方を通過するという緊迫した状況の中で、今年の将棋フェスティバルを開催しました。

この将棋フェスティバルは中日新聞社の後援で、愛知、岐阜、三重、静岡、長野、福井、石川、富山、滋賀の9県による5人制支部対抗戦を軸に、個人戦6クラス、プロ指導対局、懸賞詰将棋、プロ公開対局など一日中将棋を楽しむ企画として長年にわたり開催されています。



今年5人制支部対抗戦には、これまで最多数の51チームのエントリーがあり、A級12、B級21、C級18チームに分かれて熱戦を展開しました。注目のA級は4回戦を戦い4連勝なしの3勝1敗で4チームが並び、勝ち数の差で名古屋創龍会、伊勢A、春日井A、栄将棋教室の順になりました。静岡県から参加の浜松支部は、勝ち点2でした。B級の優勝は愛知棋匠会A、C級は豊田けやきBが優勝でした。

また、ふれあい将棋大会にはA～D級、小学生高学年及び低学年の6クラスに85名の参加がありました。こちらの方は台風の影響も少しあり、若干少なめの参加でした。

プロ棋士による指導対局は、特別指導対局及び一般指導対局55名でした。

懸賞詰将棋は、3名に森内俊之九段の色紙、その他20名に賞品という楽しみな企画で、一生懸命問題に取り組む姿が各所で見られました。

メインの公開対局は台風の影響で30分繰り上げて午後3時から、稲葉陽八段VS澤田真吾六段で開始されました。解説杉本昌隆七段、聞き手はYAMADAチャレンジ杯優勝の石本さくら女流初段、そして指導対局を中断して飛び入り解説の佐藤紳哉七段でした。佐藤七段は対局で棋士が桂馬を飛ぶと、カツラ(桂)を飛ばす妙技で有名です。この日も澤田六段が3七桂と指すとカツラを飛ばしてファンを沸かせました。将棋は今年の名人戦挑戦者の稲葉八段が作戦勝ちから優勢を拡大しましたが、澤田六段が粘って熱戦になりました。最後は長手順の末、稲葉八段の勝利に帰しましたが、持ち時間10分、切れたら1手30秒という早指しという厳しい条件の下での熱戦でした。

午後4時過ぎにはすべてを終了しましたが、澤田六段と写真を撮りたいと言う女性ファンが順番待ちする状態が生まれ、杉本七段も気軽に写真撮影に応じていました。

将棋フェスティバル全体を通じていろいろ改善の要望、ご意見を頂いています。謙虚に受け止め、東海普及連合会として検討させていただきます。

なお、5人制支部対抗戦及びふれあい将棋大会の上位入賞者は以下の通りです。

		優勝	準優勝	第三位
支部対抗戦	A級 12チーム	名古屋創龍会支部	伊勢支部A	春日井支部A
	B級 21チーム	愛知棋匠会支部A	三重KOMAの会支部	名古屋と金クラブ支部B
	C級 18チーム	豊田けやき支部B	名古屋と金クラブ支部C	愛知棋匠会支部C
ふれあい将棋大会	A級 10名	瀬野 泰平 (日進市)	石崎 智也 (桑名市)	上村 倫矢 (武豊町)
	B級 14名	木村 野乃花 (一宮市)	櫻井 皓太 (岐阜県海津市)	久保田 一央 (名古屋市西区)
	C級 12名	牟田 知弘 (名古屋市中川区)	丹羽 泰貴 (名古屋市瑞穂区)	永田 孝三 (三好市)
	D級 15名	山崎 高寛 (名古屋市中区)	藤原 進 (春日井市)	西部 雅樹 (尾張旭市)
	小学生高学年 15名	富田 文希 (多治見市立養正小6)	橋爪 遼 (東郷町立高嶺小4)	田中 亮伍 (東海市立横須賀小6)
	小学生低学年 16名	山田 康雅 (日進市立西小3)	寺澤 橙吾 (豊明市立唐竹小3)	安本 興生 (弥富市立弥富小1)

6 ウッドワンダーランド2017で将棋イベント

10月28日(土)、ポートメッセなごやにてウッドワンダーランド2017が開催されました。主催者の「日本木工機械工業会」から、日本木工機械展にて将棋の催しをと相談を頂いたものです。全く馴染みの無い展示会でしたが、2年に一回4日間に亘り実施されているとのことでした。

藤井聡太四段の活躍に刺激されて将棋講座の新規開設による講師派遣依頼、既存将棋教室の生徒急増、そして新しい将棋企画に関する相談など将棋界を取り巻く環境は大きく変化を遂げつつあります。

いろいろ検討した結果、中学生以下の将棋大会、プロ棋士による公開目隠し将棋、プロ棋士による指導対局、神田和徳さんの「将棋駒のいろいろ」の展示、大会参加者への神田さんの駒キーホルダー進呈、将棋初心者コーナーなどを内容として実施しました。

参加棋士は、杉本昌隆七段、西川和宏六段、大橋貴洸四段、中澤沙耶女流初段の皆さんで、目隠し将棋は西川六段と大橋四段にお願いしました。杉本七段の解説、中澤女流初段の聞き手で正午から公開対局を行いました。当日は台風の影響でかなりの雨の中、多くの将棋ファン、家族が会場のポートメッセなごやに足を運んでくれました。公開対局は約100席と若干の立ち見が出るなかなかの盛況ぶりで、将棋に詳しくない皆さんもプロ棋士が目隠ししたままで将棋の対局をしている姿に、信じられないと囁かれていました。



午前10時からのごども将棋大会には76名の小学生及び中学生の参加がありました。

プロ棋士による指導対局は75名の多くの方が受けられましたが、中には1年生で7手詰めを一目で解く子もいて指導に当たった杉本七段が驚いていました。この子だけでなく何人かからの将棋を学ぶ機会の相談には、可能な限り丁寧に応じました。

将棋ブースは神田さんの将棋駒の展示を見に来る方、指導対局を受ける方、自由に対局をする皆さんで終日賑わいました。

日本木工機械工業会の理事長に何度か足を運んでいただき、将棋大会のプレゼンターもお願いしました。大会賞品として日本木工機械工業会から各種の木で作った高価な扇子、団扇を提供していただきました。理事長には「将棋イベントは初めてですが、なかなか素晴らしい。機会があれば是非またお願いしたい」と喜んでいただきました。初めての企画で木工機械展での将棋大会は、少し心配でしたが何とか成功裡に終わることができました。

将棋大会の各クラス入賞者は以下の通りです。

	優勝	準優勝	第三位
中学生 9名	宮堂 力旗 (岐阜県養老町)	大田 暖乃 (大府市)	安藤 拓穂 (稲沢市)
小学5・6年生 20名	住吉 治志 (多治見市)	小島 勇弥 (名古屋市千種区)	神谷 拓摩 (半田市)
小学3・4年生 18名	梶川 宗継 (津市)	白木 大輔 (豊橋市)	前川 海里 (四日市市)
小学2年生以下 29名	神野 来樹 (関市)	大草 歩睦 (名古屋市千種区)	山中 惇史 (安城市)

7 平成29年度愛知県支部連合会支部長・将棋指導員合同会議

10月8日(日)、平成29年度愛知県支部連合会支部長・将棋指導員合同会議を開催したところ、48名の参加があり、活発な議論が交わされました。

日本将棋連盟からは、専務理事の森内俊之九段が出席されました。森内九段のご挨拶では、愛知県の普及の話を聴いて全国の普及に活かしたい旨のありがたいお言葉をいただきました。ひとえに普及活動に携わる皆様方の努力の賜物と感謝しております。

支部の拡大、将棋普及指導員体制の充実など、従来どおりの愛知県支部連合会の方針を共有するとともに、将棋フェスティバル2017やさなる杯小学生将棋名人戦を始めとした当面の行事の成功に向けて協力することを確認しました。

参加者からは、英語の教材の必要性について意見が上がるなど、普及の対象がさらに広がっていることが感じられました。



8 第34期全国アマチュア王将位東海地区大会

- (1) と き 平成29年11月12日(日) AM9:30～受付 AM10:00対局開始
- (2) と ころ 名古屋港湾会館第1会議室
- (3) ク ラ ス アマ王将位決定戦、Aクラス(有段者)、Bクラス(1～3級)、

- Cクラス（4級以下）、Dクラス（7級以下の小中学生）
- (4) 参加費 大人3,000円（2,500円）、大学生2,000円（1,600円）、
女性・高校生1,500円（1,200円）、中学生以下1,000円（800円）
（ ）内は日本将棋連盟支部会員（会員証提示にて）
- (5) 表彰 アマ王将位決定戦優勝者に四段免状、全国大会招待
各クラス第三位までに賞状・賞品
- (6) 主催 日本将棋連盟東海普及連合会・愛知県支部連合会
- (7) 問合せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

9 第30期竜王戦第4局大盤解説会

- (1) と き 平成29年11月24日(金) PM2:00～指導対局 PM4:00～大盤解説会
- (2) と ころ 読売新聞中部支社5階会議室
地下鉄伏見駅徒歩7分
- (3) 対局者 渡辺明竜王vs羽生善治棋聖
- (4) 解説者 杉本昌隆七段 中澤沙耶女流初段
- (5) 定員 100名 指導対局は先着10名
- (6) 参加費 1,500円 指導対局は2,000円
- (7) 申込方法 住所、氏名、電話番号、参加人数、指導対局参加の有無を記入し、①は
がき（〒460-8470 住所不要）、②FAX（052-211-0084）、③電子メール
（c-event@yomiuri.com）のいずれかで読売新聞中部支社「竜王戦大盤
解説会」係へ。11月17日(金)必着。
- (8) 主催 読売新聞社
- (9) 問合せ 読売新聞中部支社事業課 電話052-211-0083

10 第5回愛知県知事賞金鯨名人戦、金鯨こども将棋大会

- (1) と き 平成29年12月3日(日) PM0:00～受付 PM0:45開会式
- (2) と ころ 名古屋市西区役所2階講堂
- (3) 資格 金鯨名人戦 愛知県内在学の中学生以下
- (4) クラス 金鯨名人戦
金鯨こども将棋大会 B: 小学2年生以下 C: 小学3・4年生
D: 小学5・6年生 E: 中学生
- (5) 定員 200名
- (6) 参加費 500円
- (7) 申込方法 ①氏名・ふりがな、②学校・学年、③参加希望（「金鯨名人戦」「こども大会」のどちらか）、④住所、⑤電話番号を、①はがき（〒460-0008
名古屋市中区栄四丁目12-21第2栄スカイタウン4A）、②FAX（052-253-
9442）、③電子メール（qquz899d@tea.ocn.ne.jp）のいずれかで
- (8) 表彰 各クラス第三位まで
- (9) 主催 日本将棋連盟東海普及連合会・同名古屋支部 金鯨こども将棋教室
- (10) 共催 名古屋ウエストライオンズクラブ
- (11) 後援 中日新聞社 愛知県 同教育委員会 名古屋市 同教育委員会

11 第96回中部職域団体対抗将棋大会

- (1) と き 平成29年12月3日(日) AM9:30～受付 AM10:00対局開始
- (2) と ころ 名古屋港湾会館第1会議室

- (3) 参加費 1チーム20,000円(昼食付) 日本将棋連盟支部チームは18,000円
 (4) 問合せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

12 さなる杯第43回小学生将棋名人戦愛知県大会地区大会

- (1) と き 平成29年12月10日(日) AM9:00~受付 AM10:00対局開始
 (2) と ころ 豊橋会場 さなる豊橋本部校
 豊橋市駅前大通3-50-2 電話0532-55-0110
 岡崎会場 さなる東岡崎駅前校
 岡崎市吹矢町2-1 電話0564-66-0555
 刈谷会場 さなる刈谷本部校
 刈谷市南桜町2-58-2 電話0566-24-7555
 名古屋会場 さなる名古屋新栄校
 名古屋市中区葵1-22-13 電話052-933-1001
 一宮会場 さなる一宮本部校
 一宮市八幡2-4-3 電話0586-46-5041
 豊田会場 さなる豊田本部校
 豊田市西町5-13 電話0565-35-1101
- (3) 内 容 第43回小学生将棋名人戦愛知県大会地区大会
 小学生交流将棋大会 高学年(4年以上) 低学年(3年以下)
 プロ棋士指導対局、プロ棋士によるミニ講演
- (4) 参加費 1,000円(さなる在校生は無料・IDカードを持参)
 (5) 表彰 第三位までに賞状・賞品、第四位に賞品
 (6) 参加棋士 豊橋会場 神谷広志八段 近藤正和六段
 岡崎会場 畠山成幸八段 平藤眞吾七段
 刈谷会場 東和男八段 北浜健介八段
 名古屋会場 神崎健二段 横山泰明六段
 一宮会場 中田章道七段 増田裕司六段
 豊田会場 杉本昌隆七段 宮本広志五段
- (7) 主 催 日本将棋連盟愛知県支部連合会
 (8) 協 賛 株式会社さなる
 (9) 後 援 中日新聞社 愛知県・同教育委員会 名古屋市・同教育委員会
 (10) 協 力 日本将棋連盟 日本将棋連盟東海普及連合会
 (11) 問合せ 日本将棋連盟愛知県支部連合会 電話052-253-9441

13 第10回小中学生第6回高校生小牧陣中将棋大会

- (1) と き 平成29年12月24日(日)
 小中学生 AM10:00~受付 AM10:30対局開始
 高校生 PM1:20~受付 PM1:40対局開始
- (2) と ころ ふらっとみなみ(小牧市南部コミュニティセンター)
 小牧市北外山1187 電話0568-77-1375
- (3) ク ラ ス 小中学生 A(二段以上)、B(初段~)、C(3級~)、D(6級~)、
 E(9級~)、F(12級~)、G(15級~)、H(18級~)
 高校生 A(二段以上)、B(初段~2級)、C(3級~)、D(6級~)
- (4) 参加費 A~G 500円、H 300円
 (5) 主 催 小牧市 小牧市教育委員会
 (6) 後 援 愛知県教育委員会 小牧商工会議所 ふらっとみなみ運営協議会

日本将棋連盟愛知県支部連合会

(7) 問合せ 棋道指導員 渋谷文博 電話090-1277-2626

14 今後の予定

- 11月12日(日) 第34期全国アマチュア王将位東海地区大会
- 11月24日(金) 第30期竜王戦第4局大盤解説会
- 12月3日(日) 中部職域団体対抗将棋大会
- 12月3日(日) 第5回愛知県知事賞金鯉名人戦、金鯉こども将棋大会
- 12月10日(日) さなる杯第43回小学生将棋名人戦愛知県大会地区大会
- 12月23日(土) 日本将棋連盟将棋指導者講習会
- 12月23日(土) 第1回ミクスネットワーク杯将棋大会
- 12月24日(日) 第10回小中学生第6回高校生小牧陣中将棋大会
- 1月7日(日) 第26回東海アマチュア将棋王位戦・新春指し初め将棋大会

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。

東海普及連合会ホームページ (http://www.geocities.jp/shogi_tokai/index.html) からダウンロードしていただくこともできます。

東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp